

ニコラス シュトライデル



ニコラス シュトライデル
理学博士 理学修士 (化学)

ドイツ弁理士
欧州特許弁理士
欧州商標弁理士

1980 年 アウクスブルグ、ドイツ

言語: ドイツ語、英語

専門分野: 化学

✉ streidl@mueller-bore.de

履歴

シュトライデル氏は2000年から2005年の間、ミュンヘン大学 (Ludwig-Maximilians-Universität München) において化学を専攻し、副専攻科目として特許法も学ぶ。2005年に修士論文「ベンズヒドリルエステルと求核剤との反応の化学選択性」で修士過程を修了する。

シュトライデル氏は2006年にミュンヘン大学 (Ludwig-Maximilians-Universität München) において博士課程を開始し、2010年に博士論文「離核性と離電子性の包括的な指標の開発」で博士号を取得する。博士課程においてシュトライデル氏は物理有機化学の分野で有機反応性の定量化についての研究を行い、それにより得られた知見を基に新しい合成概念の開発に取り組んだ。シュトライデル氏はとりわけ有機金属と有機合成に関する知識が豊富であり、さまざまな物理学的測定手法についても詳しい。

2011年に当ミュラーボレに加わり、さらにドイツ特許商標庁、ドイツ連邦特許裁判所においても実務経験を重ねる。2014年にドイツ弁理士資格および欧州特許弁理士資格を取得し現在に至る。

専門分野

専門分野は無機化学、有機化学、物理化学、ポリマー化学、色素、電気化学、触媒、ナノテクノロジーなどである。